

社会医療法人玄州会
光武内科循環器科病院

広報誌

創刊号
Vol. 1

2022年7月号

かたつむり



事務長 松尾武史

院長 空閑 毅

看護部長 木脇恵子

今月の目次
理事長あいさつ
病院機能評価について
地域包括支援部より

光武病院診療体制（令和4年6月1日以降） **三島診療所水曜に診療変更のため赤字変更箇所**

		月	火	水	木	金	土
予約		光武 新人	光武 新人	空閑 毅	光武 新人 空閑 毅	空閑 毅	空閑 毅
新患外来	8:30~9:30	光武 新人	光武 良晃	頼 嘉珀 (12:30迄)	光武 新人	頼 嘉珀 (12:30迄)	頼 嘉珀
	9:30~15:00	光武 良晃		藤野 (13時~)	光武 良晃	市来 (13時~)	武岡 宏明
	15:00~	当直医	当直医				
専門外来	皮膚科	永江 9:30~17:00受付	施設往診		永江 9:30~17:00受付	永江 9:30~16:00受付	
	呼吸器科	○					
	糖尿病科		○				第1.3.4.5
	消化器内科			○			
	肝臓内科			○			
	心不全外来			○			
	血液内科				○		
	神経内科					○	
	睡眠時無呼吸					○	
整形外科						○	
発熱外来 9:30~13:00	光武 良晃	光武 良晃	頼 嘉珀	光武 良晃	頼 嘉珀	武岡 宏明	

発熱・風邪症状のある方は電話にてお問い合わせ下さい。

- ※1 診療時間 8:30 ~ 17:00
急患は随時ご連絡ください。船便の都合上、時間が前後する場合がございます。窓口でご確認をお願い致します。
- ※2 診療時間 9:00 ~ 16:30
- ※3 皮膚科の火曜日午前中病棟回診、午後往診ですが緊急時はご連絡ください。

診察医の担当表は受付正面に毎日表示しています。「担当医師」は変更になる場合もあります。詳細についてはお尋ねください。

当院は
院内全域
敷地内全面で禁煙です



当院は
感染症対策
実施医療機関です



当院は
日本医療機能評価機構の
認定病院です



訪問診療料金
(2022/6/1 現在)

	月1回	月2回	毎週(月4回)
自宅訪問診療料金 (1割負担)	約4000円	約7500円	約10000円
施設訪問診療料金 (1割負担)	約2000円	約4000円	約7500円

注意) 上記の金額に加えて、お薬の代金が別にかかります

処方(薬)は自宅近くの薬局で受け取る事が可能です

支払い方法	1回/月、当院窓口にて支払い
	「ひかり訪問看護」ご利用の方は口座引き落としが出来ます

患者様の動きを確認し、必要ならハビリを調整いたします。入院したら、入院したきりにならないよう回復されたら、できるだけ早期に住み慣れた御自宅に帰られる援助を目指しています。

しかし、残念ながら入院前の体の動きに戻れず、介護の度合いが大きくなり、自宅で生活が困難になった場合は福祉施設への入所も患者様・御家族は選択されます。老岐市内の福祉施設だけでなく福岡や長崎の福祉施設へも紹介、申し込みの相談も行っております。

③ レスパイト(休息) 入院とは

自宅での介護に精神的な疲れや肉体的な疲れを感じておられるご家族様へ、当院では休息レスパイト入院(休息)をお受けしています。ご自宅で療養されている方で常に手当や見守りが必要な方に、一時的に入院していただくことでご家族に休息をとってもらうための仕組みです。また冠婚葬祭やご家族の病院受診等で、介護される方が不在になる場合でもご利用が可能です。入院期間中、基本的にはリハビリを実施いたしません。必要に応じ搬送車での送迎も可能です。

○入院期間は原則2週間以内です。ご本人、ご家族の状況で医師が最終的に決定します。

○かかりつけ医が当院以外の場合「かかりつけ医療機関」の紹介状が必要になります。

○緊急の場合を除いて、レスパイト入院(休息入院)期間中に採血や胃カメラなど検査や、他の医療機関の受診はできません。

レスパイト入院費用
(1ヶ月の概算)

区分	基礎費用	食費	諸経費	総額
難病	2500円	4000円	おむつ代	6500円+オムツ代
一般	57600円	約17900円	おむつ代	約65000円+オムツ代
限度額(低2)	24600円	約6600円	おむつ代	約30000円+オムツ代
限度額(低1)	15000円	約4000円	おむつ代	約20000円+オムツ代

○自宅で使用されているお薬、医療材料などはご持参ください。

○当院で「レスパイト入院(休息入院)」の退院直後、連続して老岐病院や他の医療機関への入院は基本的にできません。ご注意ください。

○「レスパイト入院(休息入院)」退院直後に福祉施設「短期入所利用は可能です」の短期入所利用は可能です。

○「レスパイト入院(休息入院)」に関するお問い合わせ・お申し込みは当院「地域連携課」にお願いいたします。

④ 「相談室」とは

当院の医療を受けている患者様へご家族や関係者の方で、医療や福祉に関して「疑問」「不安」「悩み」など、お困り事をうかがい対応させていただきます。解決に向けては担当の職員のほかに相談内容によっては医師、看護師、社会福祉士など対応できる職員が一緒になって考えていきます。相談される方の秘密は固くお守りいたします。ご安心ください。次のようなことがありましたら、一度「相談室」にご連絡ください。

◇療費負担を軽減する制度はないだろうか? 知りたい

◇入院(転院)や施設などを探しているがどこがいいのかわからない

◇退院後に自宅での介護や看護に不安がある

◇介護保険のサービス内容や申し込み方法を知りたい

◇医療に対して不満や苦情があるが、どこに言ったらいいかわからない

◇ちよつと聞きたいことがあるが、誰に聞いたらよいかかわからない (おわり)



社会医療法人玄州会
光武内科循環器科病院

〒811-5135 長崎県老岐市郷ノ浦町郷ノ浦15-3

TEL: 0920-47-0023

FAX: 0920-47-5404



病院の最新情報は
こちらから



たが、さらに実態に合うよう、また、有効性のある規程への改訂となりました。

次に行われたのが、機能評価の項目に沿った医療の質の検証です。作業部会が中心となり毎月ラウンドを実施しました。院長を先頭に準備委員会・作業部会と病院が一体となり取り組むことが出来るようになりました。また、継続的にビデオ研修やオンライン研修、機能評価受審経験のある病院見学も積極的に実施しました。

振り返ってみると、これまで外部講師と実施した、目標管理をはじめとしたSWOT分析やBSC作成が成果に繋がった事を実感しています。令和元年に中長期と単年度のBSCを作成、また、BSCを理事会だけでなく、全職員に開示した事で、多方面からのチェック機能が発揮され、PDCAサイクルが有効に機能したことが結果に繋がったと確信しています。

最後に機能評価受審は自身自身への挑戦でもありました。看護師から事務長へ任命されたのが36歳。幾度となく

壁が立ちただけで、その都度、志を共にする仲間と邁進してまいりました。機能評価受審を機に仲間が増え、仲間の輪が強化されたことは大きな財産となりました。住民の皆様

の健康・生命・生活を守り、未来をひらく 法人の理念に基づき今後も、地域の為に精進して参りますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。(おわり)

地域包括支援部(地域連携課・相談室)

光武内科循環器科病院の地域包括支援部は「地域連携課」として患者様の入院の調整を行っている部門と「相談室」として患者様・ご家族様のお困り事のご相談にあたる2つの部門で構成されています。

孝倫医師)、看護師1名、事務2名、社会福祉士2名、の計6名です。

①訪問診療(往診)について

国が勧めている「地域包括支援システム」の一環として、

支援システムの一環として、

メンバーは医師1名(光武

当医として、本市内全域に行

と3年は年間約1450件訪

問診療が行われました。当院

1200件程(月平均100

件)患者様の自宅に伺って訪



問診療させていただきまし

た。当院の患者様だけでなく

他の医療機関から紹介された

方のお宅にも伺っています。

訪問診療(往診)に伺って

入院の必要を認めた場合は、

速やかに当院や紹介元の医療

機関に受診・入院出来るよう

対応しております。当院が、

かかりつけで無い患者様で

も、ご家族などから、ご相談

②入退院の調整

主に社会福祉士2名が入院

してから退院までの調整を行

【業務内容】

- ①訪問診療(往診)の日程調整や円滑な診療援助を行います。
- ②レスパイト入院(ご家族の休息の為)入院の予約やキャンセルなどの調整を行います。
- ③ケアマネージャーや在宅部門の方と連絡・入退院の調整を行います。
- ④他の医療機関などと連携して転院・他の医療機関受診・検査予約などを行っています。
- ⑤「相談室」として患者様・ご家族のご相談にあたります(ご意見の掲示など)。

の連絡を行います。在宅や施設への退院を見据えた介護保険のサービスマネジメント調整を本人や家族、担当ケアマネージャーと相談しながら話し合いを行い在宅でのサービスマネジメントを調整して

います。

在宅での必要なサービスマネジメントは患者様ごとの生活を送ることが出来ることを第一に多くの関係する他職種(ケアマネージャー、訪問看護、福祉用具業者、訪問リハビリ、訪問薬剤師など)と連携して

います。

退院前には、実際に患者様の御自宅に伺って生活に必要な福祉用具の選定をしたり、

理事長あいさつ

社会医療法人玄州会理事長 光武新人



社会医療法人玄州会は、昭和57年開設した光武内科循環器科病院を中核に、「介護老人保健施設光風」、「在宅ケア総合支援センター」からなる従業員約330人の組織です。

老岐の人口は約25,000人の離島ですので3次救急施設はなく、2次救急施設の我々が最後の砦と自覚し救急医療の充実に力を入れてまいりました。しかし現在でも脳外科の緊急手術などは島内では行なえず、ドクターヘリ・防災ヘリ等を利用し島外の医療機関のお世話になっております。本土でできることが地方、特に離島でできない理由はあげればきりがありませんが、我々が努力、成長することと少しでも本土との差を埋めていけると考えています。

私どもは、救急医療から在宅医療まで切れ目のないサー

ビスを提供できるよう介護老人保健施設や在宅ケア総合支援センターの設立運営を行なっております。介護老人保健施設光風には、往診専門のふくしまクリニックを併設し老健から在宅へのスムーズなサポートを提供し、在宅ケア総合支援センターはサービス付き高齢者向け住宅や訪問看護ステーションなどからなり在宅医療全般を担っております。さらに老岐の無医地区にあつた二次離島の三島（老岐本島周囲にある人口約300人の離島です）に診療所設置を老岐市にお願いし実現、現在医師派遣や運営に参加しております。

まだまだ医療・介護サービスをさらに充実させるためにはやるべきことはたくさんあります。そのためには協力して頂ける人の数が不足しています。簡単な近道や小手先の方策では医療や介護はよくありません。今向き合っている仕事に全力を出すこと、日々

努力を積み重ねて成長すること、それを実行する多くの同志が必要で。我々と一緒に地域医療・介護をよりよいものにしていきたいとお考えの方がいらっしゃいましたら是非ご連絡ください。資格が必要な職種もありますが資格が

不要な仕事もたくさんあります。さらに多くの方に参加して頂ければ、雇用を通じても地域の皆様に恩返しができると考えています。老岐を医療・介護の先進地域に変えていきます。

（おわり）

病院機能評価を受審して

光武内科循環器科病院 事務長 松尾武史

平成31年の年頭の挨拶で病院長は病院機能評価受審を目標を示しました。過去にも特定医療法人・社会医療法人・電子カルテ導入等、地域住民の皆様の為・病院の為にすると判断した事は、積極的に取り組んで参りました。近年は外部講師と年間契約を締結し、職場風土やコミュニケーション、コーチングスキルや目標管理、BSC研修など、職員や組織の成長の視点を沿った研修会を繰り返し実施してきました。

そして、いよいよ病院機能評価への挑戦のはじまりです。まず、病院長の力強いリーダーシップを支えるため、

（準備委員会）を設置しました。また、その下部組織にはこれからの病院を支える若い世代で構成した機能評価作業部会（作業部会）を設置しました。作業部会の設置には、長年病院を支えた女性職員（病院機能評価準備室副室長）の強い思いがあり、病院機能評価は合格が目的でなく継続が目的と当初から主張され、次世代育成を考えたチーム編成となりました。

最初に着手したのが、組織規程の整備です。これまでに特定医療法人・社会医療法人と組織化を進めるにあたり、様々な規程を整備してきました

